

# 養命酒製造株式会社

## 第93期 中間株主通信

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### 目次

株主の皆様へ	1
生活者の豊かな健康生活への さらなる貢献を目指して	
トピックス	5
財務ハイライト	6
財務諸表	7
株式情報	9
会社概要	10
特集	11
中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場	



# Yomeishu

証券コード：2540



# Yomeishu

## 経営理念

生活者の信頼に応え、  
豊かな健康生活に  
貢献する

## 経営目標(基本方針)

少子高齢化社会に即した  
成長戦略の実現により  
企業価値を高める

## 株主の皆様へ

生活者の豊かな健康生活への  
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

株主の皆様におかれましては、ますます  
ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜わり誠にありが  
とうございます。

平成22年12月

## 上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の取組み、業績について

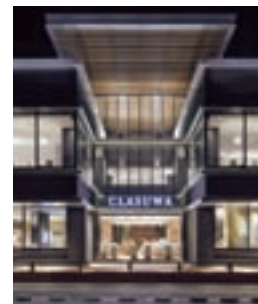
当社は、第2次中期経営計画（平成19年4月～平成23年3月）の最終年度に当たり、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、中期経営計画の主要戦略である「**新たな成長事業の推進**」に基づく**新商品・新事業の基盤の構築にかかる諸施策**に取り組むとともに、「**養命酒**」の収益構造の維持に努めました。

### 第2次中期経営計画

- ①新たな成長事業の推進
- ②「養命酒」事業の再構築
- ③大正製薬株式会社との連携強化
- ④財務体質の改善と向上
- ⑤意識構造の変革と活力ある人材の育成
- ⑥CSR（企業の社会的責任）の実践



新商品「ハーブの恵み」



新事業「くらすわ」

「新たな成長事業の推進」の取組みといたしましては、酒系市場におきまして、独自のハーブリキュールカテゴリーの開拓を目指し、平成22年3月に発売した「ハーブの恵み」に経営資源を集中し、商品認知を図るとともに取扱店の確保とユーザーの獲得に努めました。また、ハーブリキュールカテゴリーの拡充を目指し、新たな商品の開発に向けた準備に着手いたしました。長野県の諏訪湖畔における社有地の有効活用を図り、飲食や物販事業を通して生活者の皆様に安全で健康的な食やサービスの提供を目指し4月下旬に開業した健康生活提案型複合施設「くらすわ」につきましては、集客に積極的に取り組むとともに、物販における取扱商品の見直しやオリジナル商品の販売チャネルの拡充に着手いたしました。

主力商品「養命酒」につきましては、薬味酒「養命酒」の販売終了に伴い「薬用 養命酒」のブランド強化と効率的な広告の実施に取り組みました。

この結果、個人消費の低迷や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く中、新商品「ハーブの恵み」と新事業「くらすわ」の売上があったものの、薬味酒「養命酒」の販売終了などにより「養命酒」の売上は減少し、売上高は5,781百万円（前年同期比5.1%減）となりました。利益面につきましては、新商品「ハーブの恵み」の商品認知のための広告宣伝費や新事業「くらすわ」の開業に伴う費用等を計画通り投入する一方、全面的な経費節減に努め、営業利益は114百万円（前年同期比89.8%減）、経常利益は250百万円（前年同期比80.1%減）、四半期純利益は159百万円（前年同期比78.8%減）となりました。

## 新たな成長事業の推進の具現化に向けた各施策の状況

第2次中期経営計画を達成するために、「新たな成長事業の推進」、「養命酒」事業の再構築」等に取り組み、具体的には、「養命酒」の効果的なマーケティング活動の展開、「効果的な海外販売活動の展開」、「生活者の豊かな健康生活に貢献するための商品提供」、「直接生活者と接する場の展開」を推進してまいりました。

「養命酒」の効果的なマーケティング活動の展開」につきましては、「未病」を使った訴求と、広告と連動した店頭における販売促進活動の展開により、平成20年3月期、平成21年3月期の売上高は順調に回復いたしました。平成22年3月期には改正薬事法施行前の混乱による影響や個人消費の低迷等の影響を受け、売上高は減少いたしました。

「効果的な海外販売活動の展開」につきましては、各国・地域の市場環境に即したマーケティング活動を展開し、平成21年3月期には海外輸出は過去最高の売上高を達成いたしました。

「生活者の豊かな健康生活に貢献するための商品提供」と「直接生活者と接する場の展開」につきましては、事業構造の改革を図るため、「ハーブの恵み」を発売し、「くらすわ」を開業いたしました。

第2次中期経営計画の最終年度である今期におきましては、個人消費の低迷などの影響もあり目標の見直しを行いました。養命酒、新商品「ハーブの恵み」と新事業「くらすわ」に経営資源を集中し、将来の成長のための戦略的投資を行い、次期以降の成長に向けた基盤の構築に取り組んでおります。



## 生活者の豊かな健康生活に貢献するための商品提供

「ハーブの恵み」につきましては、告知広告の展開として、上半期に集中的なテレビスポット広告や交通広告等を行い、商品認知の確保に努めました。「ハーブの恵み」は、独自のハーブリキュールカテゴリーという新しいカテゴリーにおける商品であり、味のイメージを伝えるための活動にも積極的に取り組み、試飲会の開催やサンプルプレゼントキャンペーン等を実施いたしました。

下半期におきましても、引き続きこれらの活動に努めるとともに、CMに使用している曲「なごり雪」の着うたフル®プレゼントキャンペーンなども実施してまいります。

また、将来的には、新たな商品による周辺市場の取込みを図り、独自のハーブリキュールカテゴリーの拡充を目指してまいります。

今後も新たな広告展開や商品展開を行っていくことにより、成長性の確保に努めてまいります。



## 直接生活者と接する場の展開



「くらすわ」につきましては、物販におきましては、直接生活者の皆様のニーズを把握し、取扱商品の見直しや当社の生薬・ハーブの知見を活かした新商品の開発を進めていくとともに、「信州十四豚（シンシュウジューシーポーク）」のソーセージ・ハムをはじめとするオリジナル商品の販売チャネルの拡充を図ってまいります。

レストランにおきましては、ランチ時間帯の集客は順調ですが、ディナー時間帯の集客の強化を積極的に行ってまいります。

このような施策を順次行い、「くらすわ」に関する新たな需要を創出し、成長性の確保に努めてまいります。

## 株主の皆様へメッセージ

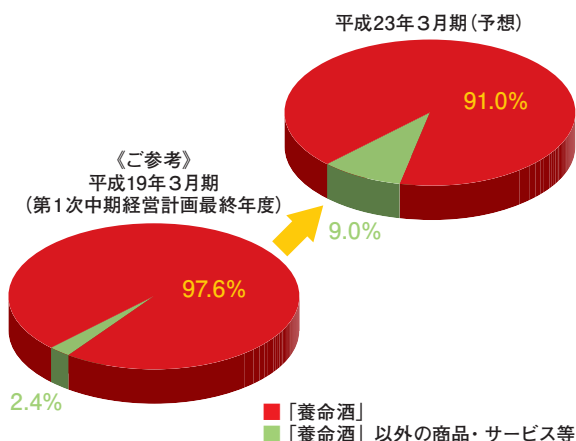
当社は、第1次中期経営計画で「養命酒」事業の高収益化を柱として築いた収益構造の基盤をもとに、第2次中期経営計画においては「新たな成長事業の推進」に基づく新商品・新事業の基盤の構築にかかる諸施策、「養命酒」の収益構造の維持に取り組んでまいりました。

第2次中期経営計画の最終年度である今期におきましては、新たな成長事業の推進により、「養命酒」以外の売上高の構成比は9%程度となる見込みであります。

「ハーブの恵み」や「くらすわ」をはじめとする新たな成長事業の取組みを強化し、将来の第2の柱となる事業や商品を築き上げ、当社の事業構造の改革を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 売上高構成



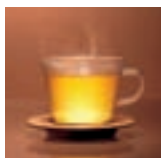
## トピックス

### 新商品「ハーブの恵み」 飲み方・楽しみ方

「ハーブの恵み」は13種類の東洋ハーブから生まれた「ココロとカラダの癒しのお酒」です。「ハーブの恵み」のいろいろな飲み方・楽しみ方をご紹介します。



「ハーブの恵み」  
(リキュール  
アルコール13%)  
希望小売価格(税込)  
1,000ml: 1,775円  
700ml: 1,281円  
200ml: 378円



ふわりとした薫り立ちとまろやかなおいしさ…  
秋冬はお湯割りがオススメ♪

「ハーブの恵み」とお湯を1：1で割るだけ♪  
お好みでレモンを浮かべてどうぞ。

#### ロック

グラスに大きめのアイスを入れてどうぞ。「ハーブの恵み」本来の豊かな香りとキリリとした清涼感をお楽しみいただけます。

#### ソーダ割り

「ハーブの恵み」と炭酸水は2：3の割合がベストです。シュワ〜とした爽快感をお楽しみください。

### オリジナル豚「信州十四豚」



薬酒の原料である14種類の生薬残渣(ザンサ)を飼料化したものを与え、徹底した飼育環境により健康的に育てました。肉質が柔らかく、瑞々しさが特長のオリジナル豚「信州十四豚(シンシュウジューシーポーク)」の各種料理を「くらすわ」のレストランでお楽しみいただけます。また、「くらすわ」のショップでは、ソーセージやベーコン、生ハム等を販売しております。



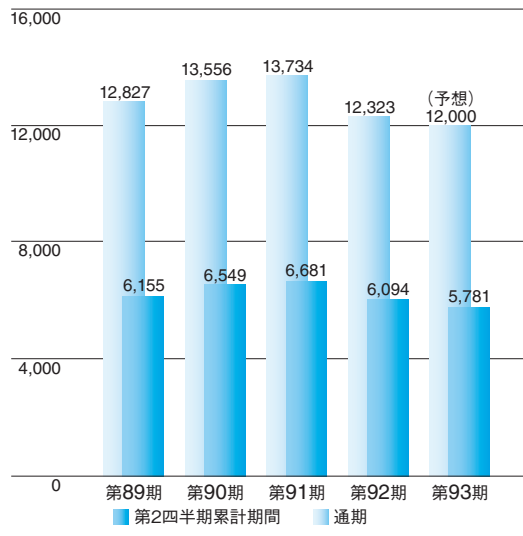
「くらすわ」  
長野県諏訪市湖岸通り3丁目1-30  
TEL 0266-52-9630 (代表)  
0266-52-9640 (レストラン)  
ホームページURL  
<http://www.clasuwa.jp/>



# 財務ハイライト

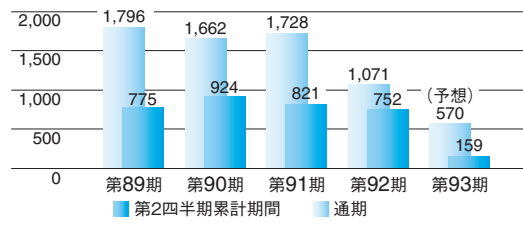
(単位:百万円)

## 売上高



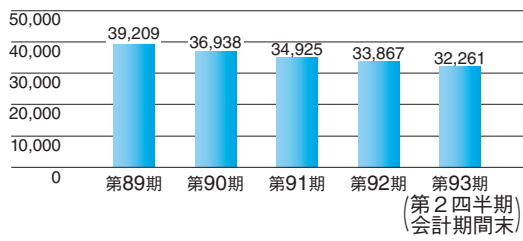
(単位:百万円)

## 四半期(当期)純利益



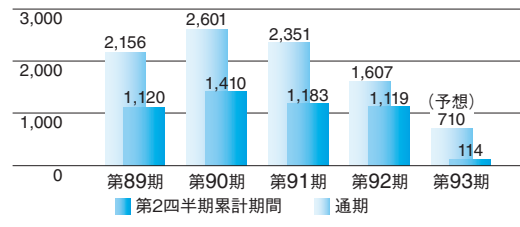
(単位:百万円)

## 総資産



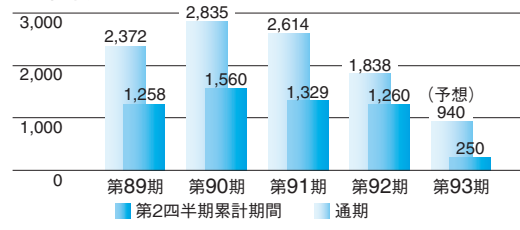
(単位:百万円)

## 営業利益



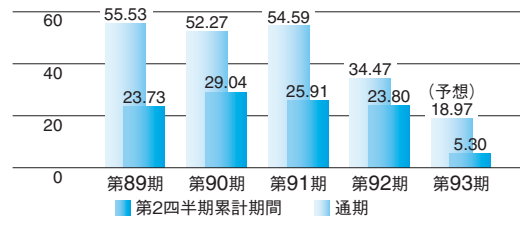
(単位:百万円)

## 経常利益



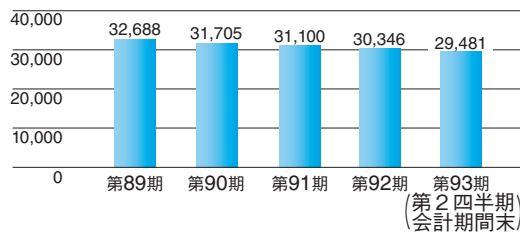
(単位:円)

## 1株当たり四半期(当期)純利益



(単位:百万円)

## 純資産



# 財務諸表

## ポイント

**【総資産】** 前期末に比べて1,606百万円減少し、32,261百万円となりました。

**【流動資産】** 前期末に比べて1,049百万円減少し、8,567百万円となりました。これは主に運用資産の更新等により有価証券が796百万円減少したことと、たな卸資産が159百万円減少したことによるものです。

**【固定資産】** 前期末に比べて557百万円減少し、23,693百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却等による286百万円の減少と、投資有価証券が国債の取得のほか保有株式の時価評価が低下したこと等により325百万円減少したことによるものです。

**【流動負債】** 前期末に比べて508百万円減少し、1,739百万円となりました。これは主に未払法人税等114百万円、未払費用236百万円及び未払金74百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

**【固定負債】** 前期末に比べて232百万円減少し、1,041百万円となりました。これは主に繰延税金負債が保有株式の時価評価の低下に伴い258百万円減少したことによるものです。

**【純資産】** 前期末に比べて865百万円減少し、29,481百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が483百万円、利益剰余金が381百万円それぞれ減少したことによるものです。

## 四半期貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)
<b>資 産 の 部</b>		
流 動 資 産	9,617	8,567
固 定 資 産	24,250	23,693
有 形 固 定 資 産	7,942	7,656
無 形 固 定 資 産	138	102
投 資 そ の 他 の 資 産	16,169	15,934
資 産 合 計	33,867	32,261
<b>負 債 の 部</b>		
流 動 負 債	2,247	1,739
固 定 負 債	1,273	1,041
負 債 合 計	3,521	2,780
<b>純 資 産 の 部</b>		
株 主 資 本	29,893	29,512
資 本 金	1,650	1,650
資 本 剰 余 金	676	676
利 益 剰 余 金	30,447	30,065
自 己 株 式	△2,880	△2,880
評 価 ・ 換 算 差 額 等	452	△31
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	452	△31
純 資 産 合 計	30,346	29,481
負 債 純 資 産 合 計	33,867	32,261

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 四半期損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	6,094	5,781
売上原価	1,927	1,960
売上総利益	4,166	3,821
販売費及び一般管理費	3,047	3,706
営業利益	1,119	114
営業外収益	154	146
営業外費用	13	10
経常利益	1,260	250
特別損失	26	22
税引前四半期純利益	1,233	227
法人税、住民税及び事業税	498	49
法人税等調整額	△16	19
四半期純利益	752	159

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

**【売上高】** 個人消費の低迷や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く中、新商品「ハーブの恵み」と新事業「くらすわ」の売上があったものの、薬味酒「養命酒」の販売終了などにより「養命酒」の売上は減少し、5,781百万円と前年同期比5.1%の減少となりました。

**【利益】** 新商品「ハーブの恵み」の商品認知のための広告宣伝費や新事業「くらすわ」の開業に伴う費用等を計画的に投入する一方、全面的な経費節減に努め、営業利益は114百万円と前年同期比89.8%の減少、経常利益は250百万円と前年同期比80.1%の減少、四半期純利益は159百万円と前年同期比78.8%の減少となりました。

## 四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	709	218
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,271	△108
財務活動による キャッシュ・フロー	△557	△538
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△1,119	△428
現金及び現金同等物の 期首残高	5,459	3,174
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,340	2,745

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

**【営業活動によるキャッシュ・フロー】** 営業活動の結果増加した資金は、218百万円（前年同期比69.2%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益227百万円、減価償却費398百万円、未払費用の減少額225百万円、法人税等の支払額158百万円によるものです。

**【投資活動によるキャッシュ・フロー】** 投資活動の結果減少した資金は、108百万円（前年同期比91.4%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出140百万円によるものです。

**【財務活動によるキャッシュ・フロー】** 財務活動の結果減少した資金は、538百万円（前年同期比3.5%減）となりました。これは主に配当金の支払額538百万円によるものです。

# 株式情報

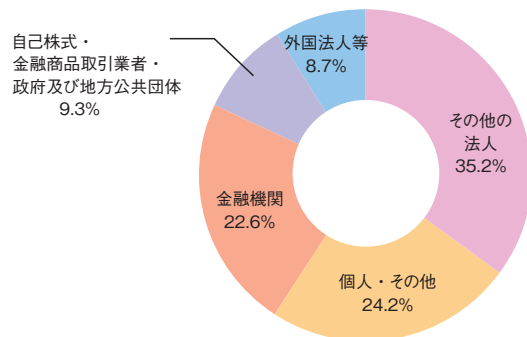
## ■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

## ■ 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,300名

## ■ 所有者別株式分布状況 (平成22年9月30日現在)



## ■ 株式に関するお手続きについて

### ① 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等 (*1) にお問い合わせください。	

- (\*1) 株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (\*2) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方法はお選びいただけません。
- (\*3) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

### ② 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定 (*2)</li> </ul>	特別口座の口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (*3) 電話 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>【手続き書類のご請求方法】</b> ○音声自動応答電話によるご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

## 会社概要 (平成22年9月30日現在)

### ■ 上位10名の株主 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)
大正製薬株式会社	6,600
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,538
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,027
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	417

(注) 当社は、自己株式を2,951千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

## ホームページを刷新いたしました

株主の皆様当社をより深く理解していただけるよう平成22年7月1日にホームページを刷新いたしました。広く社会から信頼される企業となることを目指し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様への情報提供をより充実してまいります。



企業・IR情報ページ

トップページURL：  
<http://www.yomeishu.co.jp/>  
 「企業・IR情報」URL：  
<http://www.yomeishu.co.jp/company/>

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL <a href="http://www.yomeishu.co.jp/">http://www.yomeishu.co.jp/</a>
事業所	大阪支店、福岡支店、 駒ヶ根工場、中央研究所、 施設運営事業部(くらすわ)
設立	大正12年(1923年)6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第一部、名証市場第一部
事業内容	・「養命酒」の製造販売 ・酒類、医薬品等の製造、販売
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	268名
役員	代表取締役社長 塩澤 太郎 代表取締役副社長執行役員 川村 昌平 常務取締役執行役員 竹村 彰司 常務取締役執行役員 小島 義久 常務取締役執行役員 松澤 勝彦 取締役執行役員 田中 英雄 取締役執行役員 唐澤 久雄 取締役執行役員 北園 芳種 取締役執行役員 吉松 敬雄 取締役執行役員 大野 靖 常勤監査役 松田 伴明 常勤監査役 矢部與四男 監査役 笠原 孟 監査役 井出 正一 執行役員 宮下 久宜 執行役員 鹿養 貞人 執行役員 神林 敬 執行役員 大森 勉

## 中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場 ～「養命酒」「ハーブの恵み」を生産する駒ヶ根工場をご案内します～



- 1.記念館
- 2.展示している  
50種類の生薬
- 3.展示している  
瓶：昭和4年発売（左）、昭和  
34年発売（右）

### 工場見学のご案内

#### 列車をご利用の場合

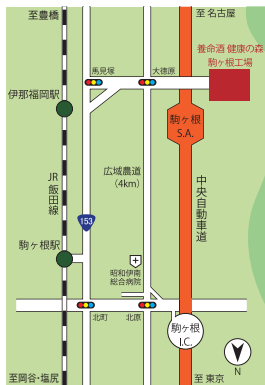
東京から  
●中央本線（特急あずさ）  
岡谷駅でJR飯田線に乗換  
駒ヶ根駅で下車。

名古屋から  
●中央本線（特急）  
塩尻駅で岡谷方面行き  
に乗換  
さらに岡谷駅でJR飯田  
線駒ヶ根方面行きに乗換  
駒ヶ根駅で下車。

駒ヶ根駅からタクシーで約  
15分。

#### お車をご利用の場合

中央自動車道  
駒ヶ根インターチェン  
ジから車で約10分。  
(案内看板があります)



駒ヶ根工場には、「養命酒健康の森」記念館があります。この記念館は、平成14年に「養命酒」創始400年を記念して、昭和47年に閉鎖した旧岡谷工場の蔵の柱と梁を使用して復元したもので、平成17年11月に見学施設として一般公開いたしました。

歴史コーナーでは、「養命酒」にまつわる歴史やそれぞれの時代背景を紹介するとともに、「養命酒」の瓶型の変遷も展示するなど、「養命酒」の今日までの歩みを知ることができます。生薬の展示コーナーでは、「養命酒」に使用している14種類の生薬を含め50種類の生薬を実際にご覧いただけます。

「養命酒」は、今から約400年前、創始者塩澤宗閑翁の健康への願いから創製され、今日まで造り続けられてきました。時代は移り変わっても、「養命酒」の精神は私たちに今も連綿と受け継がれ、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、心身の健康を願い、豊かで平和な生活を求めている生活者の皆様に満足していただける商品やサービスを提供してまいります。

ご見学のお申し込み・お問い合わせ  
養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場  
長野県駒ヶ根市赤穂16410  
TEL 0265-82-3310  
FAX 0265-82-6414



養命酒製造株式会社  
東京都渋谷区南平台町16番25号  
TEL : 03-3462-8111  
FAX : 03-3462-8340